

介護の切り捨て許さない!

11/25集会に 協力と参加を



港合同

全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3-6-26
 TEL 06-6583-4858
 FAX 06-6583-4600

労働運動の再生をめざし、産業別あるいは職種別の労働者の組織化を実現するために、関西生コン支部・全港湾大阪支部・港合同が「労働運動再生のための懇談会」を呼びかけたのが一昨年。その介護・福祉分野での取り組みとして、昨春「安心できる介護を！懇談会」を立ち上げてから一年半。

この中で、南労会支部は事務局的役割を担って、少しは皆さんのお役に立ってきたかなと感じています。またまだ介護労働者の

組織化―労働運動再生の道のは遠いけど激しくなる一方の安倍政権の福祉切り捨てや労働者攻撃に対抗していくために、これは無くてはならない重要で有効な運動であると確信を深めています。この間の社会保障解体は生活保護攻撃を切り口に、介護保険制度大改悪が続いてきました。この大元を良くしない限り介護労働者の人間らしい生活も労働も、安心して受けられる介護も望めません。日夜、現場で歯を食いしばっている労働者、事業者、必要な介護を十分に受けることができず苦勞している人、その家族、

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

上がり続ける介護保険料を負担させられている人々と家族など等一介護問題に無縁の人はいません。どの立場に在る人も共有できる思いと要求を大きな塊にして、今、厚生労働省と自治体にぶつけていかないと先はありません。

喫緊の課題は〜

- ① 来年四月開始の大阪市の事業について「要支援の切り」(特に訪問介護のサービス)を許さない。
- ② 介護保険法の次期大改悪(国は改悪案を取りまとめ中)を見直させる。
- ③ 介護労働者の賃金・労

働条件の大幅な改善。

- ④ その為に介護・福祉にかかわる様々な団体や個人が繋がっていくこと。
- 介護労働者・事業者、高齢者・障がい者・家族、市民に広く訴え声を集め行動に繋げていくこと。
- 〜だと考えています。

集会を広くよびかけ

ということ、多くのグループや個人に呼びかけて大きな集会をしようと考えました。色々な立場の人が集会を開催する側になって一緒に準備を進めていけばより良いより豊かな集会になると思います。すでに、昨年何

回か講演を頂いた日下部

雅喜さん、社会保障推進協議会、大阪市大大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野・水野博達さんを中心に集まる複数の団体が共同で取組むと決定しました。

積極的なご参加、ご協力をよろしくお願いします。

11月25日(金)

午後6時半〜

エルおおさか南館ホール

厚労省交渉

署名提出行動やります

署名はインターネットと用紙で一万五百人を超えています。十二月初旬、

「軽度者」ってほんまに軽いの？ NO!!

介護度は軽い方から[要支援1.2、要介護1.2.3.4.5]の7段階。要介護2までで全認定者の65%。国は「軽度者」と呼び介護保険からの切り離しを狙っている。★例えば要支援者にも軽い認知症の方は多くいる。国の発表では、認知症で行方不明になり亡くなった方の4割が軽い方の認知症だった。来年から要支援者への訪問介護が大阪市の事業となるが、市は大半の人の訪問介護を「無資格者

でいい」と言う。介護を甘くみるな！★要支援2のAさんは息子から電話があったと、保険を解約して百万円を用意。たまたま耳にしたヘルパーが「怪しい！」とケアマネージャに連絡。間一髪で詐欺被害を免れた。★要介護2のBさんはベッド中心の車いす生活。買物、料理、通院すべて一人では無理。持病に配慮した食の管理やリハビリも必要。しかし使えるサービス額は限度が決められているためはみ出た分は月数万円を自己負担している。これでも「軽度者」って言うのか？！

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



厚労省に提出し、交渉も行う予定です。併せて霞が関界隈で、市民に訴える行動も行いたいと考えています。

この間、新聞で「介護

保険の生活援助 要介護

1. 2 継続へ」「要介護

1. 2 移管先送り」などの見出しを見た人も多いと思います。来年、国会

上程の改悪案があまりに

も酷過ぎて若干の軌道修正かなと思わせる見出し

です。が、代わりに介護報酬をまたまた大幅に切り下げると書かれていま

す。保険料を上げるだけ

上げ、税金は使わず、介護給付は徹底的に削っていく方向は根本的に変わっていません。今、直接国に当事者の声を突きつけていく闘いが必要です。東京の仲間とも連携・連携して取り組んでいきたいと考えています。ご注目とご支援をよろしく。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！